

Israel Monthly Trends

2026年1月

目次

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. イスラエルの現在の状況_1月 | p.2 |
| 2. 今月の注目テーマ： 医療機器 | p.3 |
| 3. 医療機器に関するスタートアップ | p.4 |

本レポートは、「スタートアップエコシステムが発達しているイスラエルで、どのようなイノベーションが起こっているかを伝える情報提供を目的として作成されています。本レポートが日系企業の戦略策定の一助になれば幸いです。

1. イスラエルの現在の状況_1月

2025年11月16日から2025年12月11日におけるスタートアップへの資金調達動向は、案件数が35件で、調達額の合計は32億4,393万ドルであった。前回（2025年10月16日から2025年11月15日）の資金調達（37件・16億5,365万ドル）に比べて、案件数は微減した一方、調達総額は大幅に増加し、超大型案件が市場全体を強く押し上げた。

イスラエル・ハイテク企業 月別資金調達推移



本レポートの毎月のデータ収集期間は、前月16日から当月15日までとなる。

2025年11月後半から12月前半にかけては、エンタープライズソフトウェア・インフラ分野が引き続き市場を牽引した。Check PointがPIPEで20億ドル、Eonがフォースラウンドで3億ドル、7AIがファーストラウンドで1億3,000万ドル、Portがサードラウンドで1億ドルを調達し、これらの大型案件が市場全体の資金流入を力強く押し上げた。

2. 今月の注目テーマ：医療機器

医療機器とは、疾病の診断、治療、予防、または人体の構造や機能の補助・代替・測定を目的として使用される機械器具、装置、ソフトウエア等である。画像診断装置やカテーテル、インプラントに加え、近年はAIやクラウドを活用したプログラム医療機器の比重が高まっている。低侵襲化、遠隔化、データ活用の進展により、医療提供の効率化と質の向上が求められている。

主要な取り組みと成果

イスラエルでは、医療機器分野を工学系技術と臨床現場の課題解決を結び付ける戦略的産業として位置付けている。特に、センサー技術、ロボティクス、AI、データ解析、光学、材料科学を組み合わせた高度化が進んでおり、単一技術ではなく複数技術の統合による付加価値創出が重視されている。開発初期段階から医師や医療機関が関与し、臨床現場で顕在化している課題を起点とした製品設計が行われている点が特徴である。大学・研究機関と企業の連携は医療機器産業の中核を成している。Technion（イスラエル工科大学）をはじめとする高等教育機関では、医療機器、バイオマテリアル、画像診断、手術支援ロボット、インプラント関連技術の研究が進められている。これらの研究成果は、各大学に設置された技術移転機関を通じてスタートアップに移転され、臨床試験や製品化へと迅速につながっている。

国家レベルでは、バイオコンバージェンスを軸に、ICTやエンジニアリングとライフサイエンスを融合した研究開発を推進している。イスラエル・イノベーション庁は、学際研究支援、研究卓越性の強化、研究開発インフラ整備、人材育成、先進的かつ実効性のある規制枠組みの導入を重点領域として掲げている。これにより、医療機器スタートアップは、早期のプロトタイプ開発から臨床検証、国際規制対応までを一貫して進めやすい環境を得ている。

成果事例として、Innoventric社は右心系疾患（心臓右側の弁機能障害）を対象とした経皮的三尖弁置換システムを開発し、外科手術に代わる低侵襲治療の選択肢を提示している。Momentis Surgical社は、特定の低侵襲手技に対応したロボット支援手術システムを開発し、米国FDAの承認を取得している。これらに加え、診断機器やモニタリング機器の分野でも、クラウド連携やデータ解析を前提とした製品が増加している。このように、研究開発、資金支援、規制対応、臨床実装が相互に連動するエコシステムが形成されており、イスラエルの医療機器分野は持続的に成果を創出する構造を有している。

今後の展望

今後は、センサー性能の向上とAI解析の高度化により、診断精度の向上や個別化医療への対応が進む見込みである。クラウド連携や遠隔モニタリングの活用により、医療機器は院内用途にとどまらず、在宅医療や地域医療にも拡大すると考えられる。加えて、国際規制への対応力を備えた開発体制の構築が進めば、イスラエル発医療機器のグローバル展開が一層加速する見通しである。

出典：https://innovationisrael.org.il/en/press_release/israel-life-sciences-and-health-tech-industry-report-for-2024-25/

3. 医療機器に関するスタートアップ

- **Momentis Surgical Ltd.**

(<https://www.momentissurgical.com/>)



Momentis Surgical社は、低侵襲手術向けのロボット支援手術システムを開発する医療機器企業である。特に、経腔的アプローチを可能とするロボット技術に強みを有し、従来は腹腔鏡や開腹手術が必要であった手技の低侵襲化を実現している。同社の主力製品は、特定手技に特化した設計により操作性と安全性の向上を図っており、臨床現場での実用性を重視した開発が進められている。今後は、対応手技の拡張と国際市場での展開が進む見込みである。

- **ForSight Robotics Ltd.**

(<https://www.forsightrobotics.com/>)



ForSight Robotics社は、眼科手術向けロボット支援プラットフォームを開発する企業である。高精度なロボット制御と画像誘導技術を組み合わせることで、眼科手術における操作の安定性と再現性の向上を目指している。特に白内障手術や網膜関連手術など、微細かつ高精度が求められる分野での活用を想定しており、外科医の負担軽減と治療品質の均質化に寄与する技術として開発が進められている。今後は臨床検証と規制対応を進め、実用化段階への移行が注目されている。

- **Laminate Medical Technologies Ltd.**

(<https://www.laminatemedical.com/>)



Laminate Medical Technologies社は、再建外科向けの再生医療・医療機器技術を開発する企業である。独自の組織再生技術を基盤とし、乳房再建をはじめとする軟部組織再建分野での応用を進めている。生体適合性を重視した材料設計と、外科手技の簡素化を両立する製品開発を特徴としており、患者負担の軽減と長期的な治療効果の向上を目的とした取り組みが進展している。再生医療と医療機器の融合分野として、今後の臨床導入の拡大が見込まれている。